

## 平成26年度青年経営者養成セミナーカリキュラム

一般社団法人群馬県トラック協会青年部会  
有限会社アイム・リサーチワーク

| 研修の目的                                       | 強い企業体質を実現させるため、事業推進の原動力となる「組織の機能向上（組織力の強化）」「正確な財務の視点」「各現場の意識向上と改善力の強化」の基本的な考え方と方法・事例を学習する。また、経営者としての基本的な心構えと経営管理の基本事項を習得し、自社の業務レベルの向上及び業績向上を図る。 |   |
|---|---|---|
|   | テーマ   | 目的と内容   |
| 第1回<br>2014年<br>8月6日(水)<br>13:30～<br>16:40  | <b>経営者の心構え</b><br>(経営者として何をどのように考えておくべきか)   | <b>【目的】</b><br>経営者としての心構えの重要なポイントを理解し、「ぶれない経営」を実践できるような事例を含めて学習する。<br><br><b>【主な内容】</b><br>1. 経営者としての心の持ち方（人を大切にすることの重要性）<br>2. 経営者の仕事とは何か<br>3. 経営方針、経営目標とは何か、組織への伝達のポイント<br>4. 業績管理のポイント（業績管理とは何か、その具体的方法）<br>5. 社員をどう見るか（経費ではなく、「人」としてつきあう）<br>6. 結果とプロセスの考え方（プロセスこそが企業力強化の源である）<br>7. 経営リスク管理の基本と重要事項（BCP：事業継続計画含む）   |
| 第2回<br>2014年<br>9月2日(火)<br>13:30～<br>16:40  | <b>社員の意識改革の進め方とポイント</b><br>(前向きな社員を育成するには)  | <b>【目的】</b><br>企業経営にとって最重要事項である「社員の意識向上」の進め方とポイントを理解し、将来の管理職や経営幹部になるような人材育成の仕組みやポイントを理解する。<br><br><b>【主な内容】</b><br>1. 企業にとって「人材育成」こそが最重要課題である<br>2. 社員が「やる気」になる「経営者」「管理職」の言動、考え方<br>3. 「雑談力」で「腹を割ったつきあい」を行う *社員の「心」をつかむ<br>4. 「上下関係」よりも「人と人」としてつきあう<br>5. 人事制度・賃金制度をどのように考えていくべきか<br>6. 従業員の定着率向上、人材募集強化に必要なこと<br>7. 高齢者、女性の活用重要性、準備  |
| 第3回<br>2014年<br>10月7日(火)<br>13:30～<br>16:40 | <b>損益の構造と計数管理</b><br>(経営管理に必要な計数知識)<br>* 演習含む   | <b>【目的】</b><br>経営計画や業績管理及び経営意思決定に必要な「計数」を理解し、数値から手を打てる方法を演習を含め理解する。<br><br><b>【主な内容】</b><br>1. 業績を確認する計数とは何か、経営意思決定に必要な計数<br>2. 経営者がおさえるべき「損益計算書」「貸借対照表」のポイント<br>3. 日々の事業活動と財務諸表とを関連づけし、トップとして正確な指示を出す<br>4. 売上高と営業活動の視点<br>5. 変動費と事業活動の視点<br>6. 固定費と事業活動の視点、及び「予算統制」<br>7. 5つの利益と意味、利益の「内部留保」の考え方、「自己資本比率」への連動<br>8. 貸借対照表の基本構成と経営者が目指すべき目標値                                   |
| 第4回<br>2014年<br>11月5日(水)<br>13:30～<br>16:40 | <b>製造業に見る5S活動と運送業の関連</b><br><br>* アイム・リサーチワーク<br>製造業「現場改善専任<br>コンサルタント: 杉江講師」   | <b>【目的】</b><br>製造業が実施している「改善活動」を学び、物流業でも活かせるよう、その事例を多く学び、顧客（荷主）からの信頼を得られるよう自社でも展開する。<br>（顧客と同じ作業服を着用し、現場に入り込んで指導を実践しているコンサルタントも含め事例を重視し学習する。）<br><br><b>【主な内容】</b><br>1. 現在、製造業の現場で実施している「改善」とは何か<br>2. 「会議室で行う改善」ではなく、「現場で実践する改善」の重要性<br>3. 大手企業で実践されている「改善」を中小企業でどのように展開するか<br>4. 5Sの基本、事例、物流業への展開<br>5. 「生産性改善」の基本、事例、物流業への展開<br>6. 改善結果を業績向上にどのように関連づけるか<br>7. 改善活動で人材を育成する |

\* 全会合とも、物流業としての視点、及び中規模・小規模事業者の視点で解説いたします。